

会 議 録

会議の名称	第3回上尾市地域創生総合戦略審議会		
開催日時	平成27年10月1日(木) 13:30~15:00		
開催場所	庁議室		
議長(委員長・会長)氏名	上尾市地域創生総合戦略審議会 会長 佐藤 徹 副会長 嶋田 一孝		
出席者(委員)氏名	樋口 雅之、大澤 富三子、増田 力、本田 直子、星野 美和子、川上 恭子、 今川 修一、高野 淳、太田 篤實、鈴木 茂、平田 通子、道下 文男、富岡 正 雄(代理・秋庭 博司)		
欠席者(委員)氏名	嶋田 一孝		
事務局(庶務担当)	行政経営部長 町田 洋一、行政経営部参事兼次長 駒崎 久志、 行政経営課長 柳下 貴之、行政経営課副主幹 野崎 孝幸、 行政経営課主査 森田 健司、行政経営課主査 新田 武志 (株)富士通総研		
会 議 事 項	1 議 題		2 会議結果
	<p>開 会</p> <p>1 議 題</p> <p>(1) 上尾市地域創生長期ビジョン(案)について</p> <p>(2) 上尾市地域創生総合戦略(案)について</p> <p>(3) その他</p> <p>閉 会</p>		報告・説明と質疑応答
議事の経過	別紙のとおり	傍聴者	0人
会議資料	別紙のとおり		

議事の経過

司会	<p>開会</p> <p>みなさま、こんにちは。</p> <p>本日は、公私ともにお忙しい中、ご出席をいただきまして、ありがとうございます。ただいまから、第3回上尾市地域創生総合戦略審議会を開会します。</p> <p>本日の会議は、条例第6条の規定に基づき、委員の過半数の出席がありましたので、有効となりますことを報告いたします。それでは、条例第6条第1項の規定に基づき、佐藤会長に会の進行をお願いします。</p>
会長	<p>みなさま、こんにちは。</p> <p>それでは、次第に従って進めてまいります。</p> <p>はじめに、本会議の公開について、第1回の審議会で当審議会は「原則公開」とすることを決めております。</p> <p>事務局、本日の傍聴希望者はいらっしゃいますか。</p>
事務局	<p>傍聴希望者はありません</p>
会長	<p>つぎに、議事の正確性を証するため、議事録に署名をお願いしたいと考えております。議事録署名人につきましては、出席委員の中から1名、会長の私より指名させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>《異議なしの声》</p>
会長	<p>それでは、本日の会議の議事録署名人は、川上委員さんをお願いいたします。川上委員さん、よろしく申し上げます。</p>
会長	<p>議題</p> <p>続きまして、議題の(1)上尾市地域創生長期ビジョン(案)について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>説明の前に、本日の会議資料につきまして、あらためて確認させていただきます。本日の会議資料は、</p> <ol style="list-style-type: none">① 次第② 資料1 上尾市地域創生長期ビジョン・総合戦略の全体像③ 資料2 上尾市地域創生長期ビジョン(案)④ 資料3 上尾市地域創生総合戦略(案)⑤ 資料4 総合戦略への意見シート⑥ 参考資料 数値目標・KPI説明資料 <p>の6つです。</p> <p style="text-align: center;">— 過不足確認 —</p> <p>本日は、ご審議いただきます「長期ビジョン(案)」、「総合戦略(案)」については、計画に広く意見を反映するため、明日から10月22日(木)までの期間にパブリックコメントを実施する予定となっております。</p>

会長	<p>それでは、説明に入らせていただきます。</p> <p>(議題(1) 事務局説明)</p> <p>資料1 上尾市地域創生長期ビジョン・総合戦略の全体像</p> <p>資料2 上尾市地域創生長期ビジョン (案)</p> <p>事務局からの説明が終わりました。</p> <p>ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。</p> <p>《意見なし》</p>
会長	<p>特に意見がないようですので、上尾市地域創総合長期ビジョン (案) についてはパブリックコメントを実施していただきたいと思います。</p> <p>次に(2)上尾市地域創生総合戦略 (案) について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(議題(2) 事務局説明)</p> <p>資料3 上尾市地域創生総合戦略 (案)</p> <p>資料4 総合戦略への意見シート</p> <p>参考資料 目標値・KPI説明資料</p>
会長	<p>事務局からの説明が終わりました。</p> <p>ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。</p>
委員	<p>参考資料の数値目標「市民法人の従業者数」が、平成21年から平成25年まで数値から平成26年の数値に拡充している理由は、</p>
事務局	<p>市内に大型商業施設のアリオがオープンしたことが影響していると推測しております。5年後の数値目標としては、同程度の伸びを見込みまして、2千人増の目標値としております。</p>
委員	<p>今後大型店舗のオープンがありますので、2千人程度の伸びは見込めます。先日行った越谷のレイクタウン周辺では大規模開発が進んでいるが、上尾は上尾道路沿線も含めてもそのような場所はないように思えるが、どのようにしていくべきかを考える必要がある。</p>
委員	<p>大型店舗がいつまであるかわからない。どの施策をやるからこのぐらい増えるという積み上げの根拠はないような目標値は短絡的と思われる。KPIも同様であるが、どれをどうやれば目標を図れるのか危惧している。</p>
事務局	<p>5ページの安定した雇用を創出するの内容等が、具体的ではないとのご指摘ではありますが、具体的に記載することが難しいところです。8ページの産業の活性化の中の主な取組内容で、中小企業へのサポート、農産物・商品・工業製品のPR等を記載しておりますが、これを行うことで従業者が2千人増えるかと言われますと明確に答えることは厳しいですが、このような事業を地道に実施していくことで産業の活性化につなげ、雇用を生み出すものと考えております。</p>
委員	<p>産業振興会議がこの軸へどうつながっていくのか、そちらの会議の話も聞い</p>

	<p>ているが、それぞれどのような目標で進めていくのか、さまざまな分析の中でどのように5年間進めていくのかが、私は必要ではないかと思えます。具体性があるものをもっと作りあげていく必要があると考えているところですが、今後この計画をどのように掘り下げて実施していくのか。</p>
事務局	<p>この計画に盛り込んだ内容がまずあり、国が地方に対して、今後5年間かなりの支援を行うと言っています。国はただむやみにお金をばらまく訳ではなく、この計画に沿ったものに対して支援するものであります。現在の支援はプレミアム商品券等の事業は国が10割の交付金ですが、今後は国と市が半分の負担をして今後5年間は続けていくと国は言っていることから、たとえば、中小企業へのサポートや商店街の活性化の項目を記載して、今後概要の提示がある国の新型交付金のさまざまなメニューをよく見まして、上尾市で取り入れられるものは取り入れ、事業を実施していきたいと考えております。</p>
委員	<p>前回の会議でも意見がありましたが、計画の中で集中して実施するような簡単なものにしていかなければ、国から支援を引っ張ってくることは難しいのと思えます。これ以上この議論を行うことは難しいと思うので、これは私の意見です。</p>
委員	<p>これから、計画を作って国からお金をつけていただくとの話ですが、今の上尾のインパクトがあるものは、上尾道路の開通に伴う関越道や東北道へのアクセスの向上であり、計画では沿線地域への企業誘致と書いてありますが、この地域での業務流通についての工業用地の造成など具体的なことを書かないと、計画が絵に描いたもちになってしまうのでは。施策の展開の中でそのような位置付けをぜひやってほしいと思えます。そのような用地を用意して企業を誘致することが、雇用につながる、新しい世帯の流入につながる、市内人口が増えることにつながるので、やはり波及効果があるところに重点施策として、きちんとした位置付けをする必要があると思えます。</p>
事務局	<p>現在、上尾市の総合計画も同時に見直しを進めております。他の地域では農地をつぶして、工業団地や大規模商業施設を作っているところもありますが、これは計画に沿ったものでありますので、用途地域等の法規制についても総合計画に取り入れて、市として土地利用をし、産業を誘致し、人を増やす取組みをしていくかは、別途総合計画で進めていき、総合戦略と連携して産業の活性化を進めていくものと考えております。</p>
委員	<p>確認なのですが、基本目標の出産・子育ての希望をかなえるの数値目標の年少人口と、重点施策の子育てしやすいまちづくりのKPIの出産数を減少する目標にしているが、同じKPIの保育施設の定員数は増加する目標にしている。毎年保育施設を増やしていくことですが、子どもが減ってしまうのに、5年間で700人の定員を増やして、定員割れや閉園にならないという見込みはたっているのか。</p>
事務局	<p>この指標のもとになっております、子ども・子育て支援実施計画においても、本市の人口減少を見込んで、保育施設の定員数の増となっており、保育施設を広げることで、需要も増加するものと見込んでおります。</p>

委員	<p>子どもを預けたくても預けられないという潜在的な需要は確かにあるが、待機児童を100人適度と仮説しても、700人増が多すぎるように感じます。子どもを預けたいと思っている人がすべて預けることができると思ってしまい、事業所も運営もあるでしょうし、現実的なものなのかと思ってしまう。</p>
委員	<p>片方では、子どもの減少により幼稚園の定員は減っている。103万円以下の収入のパートでも預けることができる保育所を増やすことは、市は多額の運営費を出しても、税金の収入がまったく入ってこないことを追認しているようなものです。また、親としては長時間預けていたい、できるだけ子育てにかかわりたくないという人が増え、そのような環境で育った子どもがどうなってしまいかという心配もある。</p>
委員	<p>数値目標の従業者数は、パートの数も含んでいるのか。</p>
事務局	<p>含ませております。</p>
委員	<p>KPIの法人市民税は、本社が市外に別にあるような大きな事業所も含まれているのか</p>
事務局	<p>法人市民税なので、市内の事業所はすべて含まれます。</p>
委員	<p>パートで働きたいが、保育園に預けることができないのであきらめている人はたくさんいます。本当に生活がぎりぎりだが、今は自分の条件の合う職場がないけど、いずれは働きたいと思っている人は多い。女性が働いて収入を得て、それが地域経済の活性化につながると思うので、どんどん働きに出た方が良いと思う。それとあわせて保育園の増設が必要で、近所の人でも2年連続で希望の保育園に入ることができず、しかたなく隣接しているさいたま市の民間保育園に預けている人もいる。また、子育てをどうしていいか悩んでいるお母さんたちも保育園やその保護者に相談できるようになり救われると思うので、保育園を増やすことは必要と考えます。子育てにかかわりたくない人が多いというのは少し違うと思う。たしかに子どもの数が減るが、保育所がなくて働くことができない人も多いので、計画の目標人数は必要な数であると考えます。</p>
事務局	<p>また、子育て支援の満足度が、46.1%から70%への目標値はかなりひらきがある。満足しているかは個人によって違うことなので、3人に2人が満足しているという指標の根拠を知りたい。学校の満足度が100%になっているが、これも個人の感覚のため、かなり難しいと思うがこの内容についても確認したい。</p>
事務局	<p>子育て施策の満足度の目標値については、庁内の検討会議でも議論があったが、50%では市民が満足していると言えないとの意見があり、目標値として70%を設定した。また、学校満足度については、各学校が行っている学校評価アンケートの数値で現状値が90%となっていることから、こちらを超える目標値として100%としたが、先ほど意見があったように満足していないと感じる人はいるが、目標として100%を置いて、それに向けて取り組んでいくとの内容です。</p>
委員	<p>正社員等で働きたい人のために保育園を増やすということには意見はない</p>

会長	<p>が、ちょこちょこっとパートなどで働くために保育園を公費で増やすことは政策的に、私は間違っていると思う。そのような人には十分幼稚園や他のところで賄えるはず。子どもの置かれた環境がいろいろある中で、子どもが問題を起こしてしまう理由はたくさんあるが、その中の一つに親が子どもと接する時間が減ってきている傾向があり、それが子育てにおいて悪い影響を与えている。それを経済だけで割り切っていくと、やがて将来に大きな禍根を残すと危惧している。</p> <p>いろいろな意見が出てきて共通に言えることは、平成31年度の目標値設定の考え方のその根拠のことです。目標値を思い切って高くして、それにチャレンジすることは政策的には十分ありですが、しかし現状とのギャップはそれだけ大きくなる。そのギャップを詰めるための政策の事業メニューはたくさんあると思うが、その結果のために、あまり遠くない平成31年度までの期間で、かつ限られた予算の中で政策を打つことができるのかということです。先ほど事務局が述べた子育て施策への満足度で、基準値が平成26年で46.1%、目標値は平成31年度で70%へは、これはかなり思い切っているのではないかと私は思いますが、せめて7割ということは理解できるが、しかしギャップがかなり大きいことから、ギャップを埋めるための政策をここ何年かで本当に打てるのかと。きりがいい数値で目標を設定することはわかりやすいが、そのための手立てや裏づけの積み上げが本当は必要であるため慎重な議論が必要です。この戦略が出来て、そのあと目標値に基づいて達成度の評価を行う進行管理の段階に入っていくときに、やっぱり高すぎたとなってしまうことは予めわかることなので、もっとリアルな数値でもいいのでは。ただ、政策的に特出ししていきたいなど上尾市としてここはやりたいということなら、それに対して集中的に資源配置を考えなければいけないので、なかなか難しいことと思います。</p>
委員	<p>子育ての満足度を聞くときのその項目があると思うが、何が原因で5割か分析し、何をすれば7割になるのかがわかれば、そこに資源を投入すればいい訳で、先ほどの雇用の問題も同様です。やはり、これとこれをやってこうなるとい積み上げがないと難しいと感じます。</p> <p>先ほど委員さんからもあったことですが、幼保一元化は難しいことではありますが、幼稚園の定員割れの問題など総合的に市内の状況を見ていくことも必要があると感じている。総合戦略のポイントは何が問題なのかを明確にして、そこをどう潰していくのかが、この会議の在り方であると思っています。</p>
会長	<p>この戦略に大きくかかわることになる国からの新型交付金がまだ明確になっておりませんが、報道等によると市町村へ何億円も配分される訳ではなく、せいぜい何千万円という規模です。ただちに道路整備などのハード整備に手が回らない。基本的にはこの5年間はソフト的なことをやっていかなければならない訳で、財政が厳しい上尾市はもっと既存事業をスクラップして、その浮いた分をこの総合戦略へ投資していくなど、かなり大胆なスクラップ・アンド・ビルドを行いながら、総合戦略をやっていかなければならない。どのようなメニューが出来るかは、これから本格的に始まる予算編成の中で決まっていくものと思います。目標を大きく出すことは良いことだと思うが、あとで困らないかと思うところもあります。</p>

委員	<p>産業界も含めた大きなことなのですが、前回の会議で私も含めて何人かの委員さんも言っていたことですが、具体的なことをもっと書いたほうが良いと話しましたが、実際このような計画書はあまり具体的に書き過ぎると、しぼられ過ぎてしまうということもあって、やんわりとした表現になっていることは、ある意味仕方がないと思っている。第1回目会議時に、総合戦略を策定する目的の1つに国から出る交付金をとって、事業実施することが最終目標であると理解していますが、上尾市の戦略案を見ると他の市町村に負けないような上尾のオリジナリティがあまりなく、他市町村と似たようなものになってしまうのでは、交付金を取る時に国の担当者の目が留まりにくい結果になってしまうのではないかと心配です。総合戦略の書式が決まっているなどのそのような事情もあり、総論的な表現で書くことは理解できるので、上尾のオリジナリティを表現できるように、子育て、商業、工業等で、これからやることを別表などで表現して、今後の事業につなげることが必要と感じます。</p>
事務局	<p>この戦略を推進するための交付金の事業費が例えば、1億円としますと、来年度からは国が半分の補助し、その事業をやるためには上尾市が半分5万円を用意しなければ実施することができません。現在、すべての事業を総合計画の期間でその内容を掲げて取り組んでいます。先ほど会長より話がありましたが、その事業をスクラップして総合戦略を実施する費用を作っていく必要あり、その内容を考えていくことが1つあります。また、みなさんからご指摘があるとおり、総合戦略の内容はやんわりとした表現となっております。その理由としては、5年間で実施していくこの内容で、交付金を充てていくことを考えて想定しているところです。総合戦略で実際にやっていく事業については、各担当課で検討しているところであります。現在、来年度からの事業として予算編成に盛り込んでいるところであります。長期ビジョンについても同様な考えのもとで、今後5年後ごとの総合戦略を展開していけるような案として提示させていただいております。</p>
会長	<p>総合戦略など作成する上で決まった書式はあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>交付金を申請する上の書式は決まっています。今年度の先行型の交付金のタイプⅠとタイプⅡについては、現在国の審査中ではありますが、タイプⅠについては、市町村名を隠した状態で各市町村がどんなことをできるかという提案を国が審査している状況であり、現在その結果を待っている状況です。</p>
委員	<p>雇用を増やすということへの、活発的な産業施設が少ないと思っています。そのようなところへの施策で頑張ってもらえば、人が集まってきて人口が増えることにつながっていくと思うが、もっと人集めができるような取組みが必要だと思います。</p>
委員	<p>金融界としては、人口を受け入れるための戸建て住宅、賃貸住宅の着工数の動向を気にしている。上尾以北の支店では、住宅ローンの伸びが以前ほどではない、また、住宅関連の業者からは、国道16号以北のこれからはなかなか発展しないとの話がある。上尾の地域に関しては、住宅と人を呼び込むような具体的かつ強力な施策がないと人口減少が進んでしまう可能性がある。第2回の会議の人口予想図で示された数値で、本当に止まるのかということ銀行としては危機感を持っている。他市町村と差別化したものを提示していかないと予</p>

	<p>算も取りづらい、上尾らしさということがどこにあるのかきちんと整理していかねばいけないと前回話をしました。もし他市町村から、特化したものが出てきた際に、上尾が勝つことができるのかと思うので、これから最終的に煮詰めていく際に、オールマイティな書きぶりの中でも、上尾の強みを具体的に取り入れてほしい。となり伊奈町は、人口、土地の広さの規模がコンパクトで、いろいろ特化した施策をガンと打ちやすいまちとっており、上尾がまとまった土地がなく開発するところがないと話がありましたが、まさにその通りと感じております。今の土地構造及び人口構成において何ができるのかと考える必要があります。越谷はレイクタウンを作ることで、約3万6千人の人口を増やすことを計画し、マンションや戸建て住宅を造成している。人口がそこまで本当に増えるかわからないが、越谷市はそのような誘致に力を入れている。上尾で同じことができるとは思わないが、施設を作るのではなく人が集まりやすい仕組みを作る必要があると思います。伊奈町には医療の拠点の県立ガンセンターがありますが、その患者の受け皿を作る方法があります。上尾にも駅前に中央病院があり、なおかつ県立がんセンターも近くにありまして、医療の分野で発展する可能性が十分あるのではないかと考えています。医療だとすれば、これからの高齢者社会に対しての受け入れについても、アベノミクスの中でも医療介護は成長分野と話がありますので、十分可能性がある分野であると考えられます。上尾は福祉のまちなのかなと考えると、発展するためには役所がお金を使わないすむ民間活用です。戦略の中に、民間事業者等による実施が可能で、かつ効果が期待できるものについては、積極的に委託化を推進しますと記載されていますが、ポイントはここだと思っています。民間でお金があるところにお金を使わせて、市はそこにインセンティブを与えて刺激するだけで、民間は必ず寄ってきてお金を落としてくれるので、施策の中で民間に対してのアプローチは積極的に取り入れていただきたいと期待しています。</p>
委員	<p>KPIの目標値に、新たに民間企業等に委託する事務事業数の目標値が5件とあるが、どのようなものを考えて出しているのか。</p>
事務局	<p>市内部で行政改革というものを柱として作っておりますが、その中で検討しているものとしては、例えば、図書館の運営や子育て支援拠点などの施設運営など民間の委託化ができないか、民で出来ることは民でやってもらうことはどうか等、個別具体的な事業について、議論検討しているところです。</p>
委員	<p>市がやっていることを民間に委託することはもちろん良いことだが、先ほどの成長戦略の観点からはずれている。民間委託をして市の職員を減らすのであればいいのだが、民間委託だけして市の職員が減らなければ本末転倒。この数値をどのような意味で出しているのか。</p>
事務局	<p>職員の定員につきましては、翌年度の仕事の量に応じて決めており、毎年職員数を決定していますので、もし民間委託により仕事の量が減った際は、職員の採用数で調整することになります。</p>
会長	<p>行革という観点から公共施設を民間委託し、それは定数管理とセットになりますが、先ほど話があった成長戦略の観点からの意味合いであれば、若干毛色が違うように思えますが、どうでしょうか。</p>

委員	<p>先ほどから出てきているなかで、予算は限られていると話がありますが、問題になるのは決められた予算でどのようにレバレッジかけて事業をやっていくかということです。5千万円予算で、5億円の事業はできない。ただできないですけどそれ補助金の形にすれば効果が出せます。民間企業が1億円の事業をする際に、その事業が市にとっても良いことであれば、1千万円を補助金として投資する、そうすれば民間企業は9千万円できるとなれば、他の市でやるよりか上尾でやりますということになります。一部の自治体の中では、制度融資に利子補給を行っています。1%補填すると、その100倍の効果が生み出せますので、融資としての効果が出てきます。そのようなことで、市が直接的にやるとお金がかかることを、間接的におこなえば効果が出せるものがあると思います。いつまでも、市が主体となって事業を行えばいいが、国からもらえる交付金にも限りがあるのであれば、資金の効果をより大きくできる施策を具体化していくことが良いと思います。</p>
委員	<p>長期ビジョンには親子の近居のことが書いてあるが、総合戦略にはそのことが書いてないのはなぜか。</p>
事務局	<p>戦略の9ページの主な取組内容として、一定の条件を有する子育て世帯の住宅取得等の対し支援する取組を検討しますというところで、近居の対策についても発展できればと考えております。</p>
委員	<p>上尾もスポーツ宣言都市と謳っておりますので、上尾運動公園等で年間100万人ぐらい来ている訳ですから、それが滞留できるような施設があれば効果があると思います。そんなに費用をかけなくても、できるものがあると思いますので、そんなような施策を展開していただければ、せっかく見えている人がたくさんいるので、その人たちに上尾にお金を落とすようにシステムづくりを行えば、商店街の潤いにもなるでしょうし、なにかそのような切り口も必要と思っております。</p>
委員	<p>「子どもの可能性を広げる」の中の、主な取組内容、教育支援や図書館支援に携わるアッピスマイルサポーターや児童生徒の英語発音や国際理解教育の向上を図るための英語指導助手を全校に配置するなど、子どもの意欲や興味を引き出し、学習効果を高める取組を実施するということは、たいへん良い取組であり、ぜひともやっていただきたい。</p>
委員	<p>ハローワークで行っている施策について説明させていただきます。その中で今回は埼玉地元企業応援プランについて報告させていただきます。県内の地域経済の活性化を図るために、ハローワークが自治体及び経済団体と連携して、地元企業に対して、募集、採用、職場定着の一環支援を行い、地元の求人に対して地元の人就職の進める取組を埼玉労働局で進めています。7月の埼玉の有効求人倍率は、0.84倍で残念ながら4ヶ月連続全国最下位となっておりますが、この0.84の数字は、埼玉のハローワークの求職登録数に対して、埼玉県内の企業が求人登録した数値であり、実際にこれを就業場所単位で直した場合には、就業別有効求人倍率は1.02倍となっております。埼玉県内に求人が不足している訳ではなく、実際には埼玉には仕事があるということになります。今回会議でも話がありました企業誘致で、大型店舗、大企業などの誘致も大事かと思いますが、地元の職場の掘り起しを職安の助成金制度も活用して、</p>

	<p>今まで求人を出していなかったところへの支援を積極的に進めているところ です。埼玉に求人登録している人の実際の就職先については、やはり、県外主 に東京に流出している現状がありますので、それをいかに埼玉の地元企業に持 ってくるかということ課題として、ハローワークも取り組んでいることをご 承知いただければと思います。</p>
委員	<p>県の人口ビジョン及び総合戦略は、12月の策定に向けて取り組んでいる。 また、議会のほうでも特別委員会を立ち上げ検討することになっています。</p>
会長	<p>県内の他市町村の戦略づくりの状況で、先ほど議論のあった上尾市のオリジ ナリティみたいな他との差別化についての施策などの情報は入っていますで しょうか。</p>
委員	<p>全国一斉に取り組んでいるところで、地方へ人口移転を促進するなど、さま ざまな取組みを進めております。埼玉県内では、まだ総合戦略を策定したと ころはございません。</p>
会長	<p>他に意見が無いようですので、本日ご意見のあった意見、予め頂いた意見に ついては事務局で精査していただきつつ、パブリックコメントを実施してい たきたいと思えます。 次に(3) その他について、事務局から何かありますか。</p>
事務局	<p>本日いただきましたご意見を参考とさせていただきつつ、「長期ビジョン (案)」及び「総合戦略(案)」について、明日からパブリックコメントを実施 させていただきます。 次回会議は、10月29日(木)となりますので、ご参加についてよろしく お願いします。</p>
会長	<p>それでは、以上をもちまして本日の会議を終了いたします。進行を事務局に お返しします。</p>
事務局	<p>審議会閉会</p> <p style="text-align: center;">— 終了 —</p>